

障サ協
広報紙

山口県障害福祉 サービス協議会通信



【令和2年度 障サ協活動テーマ】
障害者の存在それ自体を我が事とする価値観をもって、諸事業に真摯に取り組む

発行：山口県障害福祉サービス協議会 広報委員会 〒753-0072 山口市大手町9番6号
電話：083-924-2799 FAX：083-924-2798 メール：syougai@yg-you-i-net.or.jp

会員事業所紹介（第6回） 常に創意工夫と改善を目指す事業所 障害者支援施設 陽の出園



障害者支援施設 陽の出園

設置法人：社会福祉法人美和福祉会
実施事業：施設入所、生活介護、短期入所、日中一時支援、
共同生活援助、相談支援事業（管理者：藤本勝則）
〒740-1231 岩国市美和町生見25
TEL0827-96-0311 FAX0827-96-0080

広報委員が会員事業所を訪問し、支援現場の雰囲気に触れながら、職員や利用者との関わり、事業所の特色やアピール点、課題や悩み等についてお聞きする会員事業所紹介です。
今回は、岩国市美和町の豊かな自然と明るい日差し込む障害者支援施設「陽の出園」です。お話を伺ったのは、支援課長の平岡龍一郎さんです。

1. 開所の経緯をお聞かせください
平岡：「陽の出園」は昭和63年の開園です。当時、障害児（者）は家族が見るのが当たり前でした。また、親御さんは、自分

2. 施設の利用状況を教えてください
平岡：施設入所の定員は50名。現在は51名（男性26名、女性25名）です。平均年齢は55歳、最年少が20歳で最高齢の方は90歳です。

5. 支援で特に意識して大切にしていることは何ですか
平岡：法人の方針に「時代の変化に沿う」というのがあります。これは、継承すべきことは大切に、でも新しい手法などほとんど取り入れて、時代の変化に柔軟に対応していくという方針です。

7. 地域との関りについて教えてください
平岡：社協と連携し、地域イベントへの参加や、アルミ缶の分別や特養のおむつ整理のボランティアなどに出掛けていく。

3. どんな障害種別の方がおられますか
平岡：9割が知的障害の方ですが、身体障害の方もおられます。また、通所には精神障害の方、入所には知的障害と精神障害の重複障害の方もおられます。
4. 利用者さんの高齢化などで、配慮していることや対応の工夫はありますか
平岡：開園当時から利用者も多く、高齢化は進んでいます。
ハード面では、設備が古くて不便をかけてしまっていることが一番の課題



陽の出園の施設長 藤本勝則さん

でもこれは、施設の利用者の方でも元気な方に限られてしまうため、地域へ出向くこと、そして地域の方を迎え入れるなど地域との共生を目指しています。
そこで最近では地域の方に「来て頂く」ことも始めました。
外出できない重度の方にとっては嬉しいことでしたし、来て頂いた地域の方からも「地元こんな大勢の重度障害の方がいらしたとは知らなかった」とか「行って良かった。また行きたい」との声もいただいています。
地域の方との相互の交

で、段階的に解消していく予定です。
ソフト面では、介護技術について同一法人の特養から指導を仰ぎ、高齢者支援の技術の習得や介護福祉士等の資格習得を奨励しています。



明るい中庭に面した窓の七夕飾り